

江南市廃棄物減量等推進協議会 令和2年度第2回会議 会議録(概要)

●日時 令和2年10月19日(月) 午後1時30分～午後3時30分

●場所 江南市役所3階 第3委員会室

●出席委員(18名)

会長 岩井 喜美子	副会長 石井 進
委員 熊崎 規 恭	委員 大橋 渡
委員 尾関 委代子	委員 多湖 直 希
委員 古田 みちよ	委員 川合 龍 司
委員 梶村 款	委員 加藤 英 樹
委員 倉橋 高 宏	委員 小林 弘 子
委員 望月 晴 夫	委員 大岩 直 文
委員 黒岩 弘 子	委員 高木 則 雄
委員 苅谷 有 朗	委員 松浦 大 介

●欠席委員(11名)

委員 西部 茂 夫	委員 岩田 節 明
委員 水野 祐 助	委員 秦 公 輝
委員 古田 一二三	委員 富山 賢 二
委員 八木 幸 男	委員 中島 伸 二
委員 藤田 泰 雄	委員 政木 幸 吉
委員 堀場 敏 之	

●事務局

環境課長 牛尾 和 司
環境課 主幹 前田 茂 貴
環境課副主幹 横川 幸 哉
環境課 主任 米 嵩 浩 之

●会議経過

開 会

●事務局

皆様、こんにちは。本日は、「令和2年度第2回江南市廃棄物減量等推進協議会」を開催しましたところ大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

皆様おそろいでございますので、只今から会議を始めさせていただきます。

会に先立ちまして、環境課長よりごあいさつを申し上げます。

課長あいさつ

●事務局

本日の会議より新しく委員になられた方もいらっしゃいます。初対面の方もおいでになると思いますのでここで簡単に自己紹介をお願いしたいと存じます。

なお、時間の都合もございますので、大変恐縮ではございますが、簡潔をお願いしたいと存じます。

委員自己紹介

ありがとうございました。

次に、事務局も、自己紹介をさせていただきます。

<事務局自己紹介>

それでは、今後の会議の進行を、会長をお願いしたいと存じます。よろしく願いいたします。

●会長

それでは、議題に入らせていただきます。

議題①の「委員選出」につきまして、今年度は環境フェスタの開催がありませんので特別委員会のみとなります。特別委員会規約第2条に10名以内で組織し、委員長及び委員は協議会の互選によって選任することになっております。

まず、委員長について、どのように選出をさせていただきますでしょうかお諮りします、いかがでしょうか。

<「推薦かどうか」と発言あり>

只今、「推薦」とのご発言がありましたが、いかがでしょうか。

<「異議なし」との発言あり>

異議なしとのことですので、どなたかの、ご推薦をお願いしたいと存じます。

<「岩井委員を推薦する」旨の発言あり>

私、岩井を推薦するとのご発言がございましたが、いかがでございましょうか。

<「異議なし」との発言あり>

異議なしとのことですので、

委員長には私岩井が務めさせていただきます。

次に、特別委員会の委員でございますが、従来から、委員は委員長より指名をさせていただいております。そのような方法で委員さんをお願いしてよろしいでしょうか。

<「異議なし」との発言あり>

異議なしとのことでございますので、特別委員会の委員について、ご指名をさせていただきます。

委員長から委員の発表

多湖 直希（たご なおき）様

川合 龍司（かわい りゅうじ）様

古田 一二三（ふるた ひふみ）様

望月 晴夫（もちづき はるお）様

政木 幸吉（まさき こうきち）様

荻谷 有朗（かりや なおあき）様

松浦 大介（まつうら だいすけ）様

堀場 敏之（ほりば としゆき）様

それから私、岩井で9名です。

続いて、議題②「レジ袋有料化に伴う寄附金」について、事務局より説明をお願いします。

事務局説明

ただ今、レジ袋有料化に伴う寄附金について事務局より説明がありましたが、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

《質疑》

続いて、議題③「江南市生活排水処理基本計画（改訂版）（案）」について、事務局より説明をお願いします。

事務局説明

ただ今、江南市生活排水処理基本計画について事務局より説明がありましたが、ご質問等がご

ございましたら、ご発言をお願いします。

《質疑》

●委員

市街化区域は下水道処理区域、市街化調整区域内は下水道が普及されないため、合併処理浄化槽を普及していくという構想と思う。目標数値が85.5%となっているが、市街化区域にある世帯、人口は全体の80%くらいになるんですか、合併処理浄化槽の世帯数は20%くらいあるとか。数字的な裏付けを教えてください。

●事務局

資料8ページ見ていただくと、江南市全体の人口を表す計画区域内人口というのがあります。令和7年度推計値ですが98,400人。そのうちの公共下水道人口44,128人、合併浄化槽人口39,967人、という内訳です。令和7年度時点での処理人口なので、もちろん推計値ですが、こういった比率となります。

●委員

中間目標年度においてかなり目標を上回っている。単独処理浄化槽が多い地区などにチラシを配るなど、努力をしていただいて年間30件~35件の転換実績があると聞いています。

●事務局

おっしゃるとおり年間合併処理浄化槽設置補助金ということで、35基を補助しております。

●委員

補助金を増やすなど努力して推進していると思いますけど、この新たな目標を前向きに検討されてるということで、今までと違った施策はあるのでしょうか。今まで通りなのか、それともさらに推進できる方法を考えているのか、ここで発表できる範囲で構わないため、市民にとって単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に転換しやすい施策などの予定はあるのか。

●事務局

下水道事業における経営戦略見直しの中で、公共下水道は市街化区域を原則とするという方針が出されました。現在、環境課で市街化調整区域における汚水処理の方式の検討を進めておりまして、今年度中に何らかの方向性は示したいという風に思っております。本日示した江南市生活

排水処理基本計画は法律に基づいた計画です。今後、市の政策会議、市議会への説明を経た後に市民に向けてパブリックコメントを行います。今回、協議会においてお示しいたしましたが、まだまだ案の段階です。年明けには正式にパブリックコメントを行う予定ですので、遠慮なくご意見をいただければと思っております。

●委員長

何か他にございましたら賜ります。

●会長

続いて、議題④その他について事務局よりなにかございましたらお願いします。

事務局説明

・視察について

●会長

事務局から説明があった視察の有無に関してですが、「中止で構わない」という発言がございましたが、その他の方はいかがでしょう。

●委員

当施設においても施設見学を中止しています。現状では実施している施設はほとんどないと思えます。

●会長

新型コロナウイルス感染症の関係で、今年度において視察は「なし」ということで決定してよろしいか。

(反対の意見なし)

では、なしということで事務局に返します。

●事務局

ありがとうございます。来年度以降につきましては受入れ可能な施設があれば実施したいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

●事務局

委員の皆様にごひお願いしたいことがあります。「雑がみとして出せる種類が増えました」とい

う資料があります。今年度 4 月から紙の分別についてほとんど雑がみとして出せるようになりました。ファイルやバインダー、刃の付いたラップの箱、ビニールの付いたティッシュの箱など、面倒と言って可燃ごみに出す人が多かったのですが出せるようになりました。シールや感熱紙などのレシート、写真、シュレッダーごみも今まで可燃ごみと言っていましたが、汚れた紙以外全部資源ごみとして処理ができるようになりました。鼻かんだチリ紙やハンバーガーの包み紙など汚れたものはダメですけど、それ以外の紙は全部資源として回収できます。私も 4 月から家のごみ箱の横に 1 つ紙袋を置いて、今まで可燃ごみとして出していた紙を集めると、かなりの量になります。江南市は年によって違いますが、1 トンあたり約 2 万 3 千円可燃ゴミに対して負担金を払っています。10 キロにすると約 230 円になりますが、家のごみ箱の横に紙袋を置くとすぐ 1 キロ、2 キロになります。各家庭でそうやってもらうとすぐに 1 トン 2 トンになりますので、かなり江南市の負担金が減少します。今年の 1 月から各地区でごみ減量懇談会というのをお願いして開催していただき、担当職員が区会や役員会など人が集まる土曜日の夜や日曜日に赴き、説明をしていたのですが、新型コロナウイルス感染症の影響から行えなくなり、周知することが難しい。ぜひ皆様をお願いしたいのが、配布や回覧できるというところがありましたら声をかけていただきたい。各団体や地元の方でご協力いただければ、感染症対策をしたうえで、説明にも参ります。ごみを少しでも減らしたいという思いがあるので、ご協力いただきたい。遠慮なく仰っていただければどこへでも伺います。

一人当たりのごみ量の話ですが、平成 21 年には 410 g、家庭系可燃ごみ市民一人一人当たりの排出量が江南市平成 21 年で 410 g からどんどん減ってきて平成 30 年には 390 g となっていました。昨年度 3 g 増えて 393 g に増えました。1 つの原因は新型コロナウイルス感染症の関係だと思えます。2~3 月から「ステイホーム」でごみ量が増えてきてそのまま推移してきましたが、この雑がみの取組のおかげか、8 月でやっと家庭系可燃ごみが減少しました。まだまだ紙の中に雑紙が含まれていますので、汚れた紙以外は全部雑紙と考えてもらい、紙袋を用意してもらって、もし紙袋がなければ資源ごみ集積所まで持って行ってもらうと、赤い雑紙のカゴが用意してあるので、そのまま入れてください。推進していきたいと思えます。ご協力をお願いします。

もう 1 枚の資料について、10 月は食品ロス削減月間ということで、10 月 30 日食品ロス削減の

日に合わせて 26 日から 30 日までフードドライブを実施します。賞味期限が切れそうになった食品や、家庭にあっても消費できない、お中元でもらっても食べ切れない食品があれば、この期間に持ってきていただきたい。

集めた食品は、名古屋市にあります NPO 法人セカンドハーベスト名古屋を通じて各市町村の社会福祉協議会などへ配られて、欠食児童、生活保護を受給する前の方などに配布されます。環境課としては賞味期限切れになって捨てられると、ごみ量が増えるという観点からこの取組みを行っております。今回で 11 回目になります。ぜひこれについても PR していただいて、ご協力いただければなと思っておりますのでよろしくお願い致します。

●委員

その次のフードドライブの予定はありますか。

●事務局

その次回は、2 月に同じく江南市役所 1 階のロビーと和田町の環境事業センターで行う予定です。

●委員

もし何十枚かこのチラシを欲しいと言ったら印刷お願いできますか。

●事務局

可能です。

●委員

11 月に集会がありますので、その時に雑がみとして出せる種類が増えましたというこのパンフレットを 40 枚用意お願いできますか。

●事務局

はい。よければ説明にも伺いますし、近年分別が変わってきていましたので、昨年末にごみ分別 DVD を新たに作成しました。そういったものも活用してもらえればと思います。江南団地では DVD を貸し出して、皆さんで勉強していただいてご協力をいただいています。

可燃ごみを減量すると、負担金が減り他の市の仕事へ回せるので、ぜひご協力をいただきたいと思います。

●委員

雑紙に写真も大丈夫と書いてありますが、アルバムなどはそのまま雑紙として排出していいということですか？

●事務局

アルバムは、ビニールを取って、台紙の金属を全部取って排出してもらっていましたが、現在はそのまま出してもらって大丈夫です。

●委員

今の雑がみの件ですけど、地区で説明会を行ってもらいましたが、かなり効果がありました。資源ごみ集積場にて分別指導していると、封筒などのビニールを剥がすの面倒だったが、「すごい助かる」と言って排出量が増えました。

ただ、増えたのはいいですが、雑紙用のカゴがすぐに一杯になってしまいます。できれば雑がみ用のカゴを増やす対応をしていただけると助かります。

●事務局

容器については、取組開始にあたって、十分に用意しましたがそれでも足りないということですね。

●委員

そうです。

●事務局

分かりました。収集業者と連携して、足りないということであれば、増やします。万が一足らなければ、他のカゴが残っていれば使用しても構いません。

●委員

以前にそれを注意されたことがあります。

●事務局

申し訳ありません、注意するのは誤りと思いますので、委託業者へ徹底します。

●委員

初めて雑がみの種類が増えた事を知りました。大変いい取組みだと思います。小中学校では生

徒たちにごみの分別の指導を行っているため、この新しい分別方法で、指導中身が変わっていきます。そのため小中学校へこの件については伝えていきたいと思います。また何か小中学生用に適切な資料がありましたら、いただければと思います。

雑がみとして出せる種類が増えました、生徒たちに分かりやすく言うと、紙が付いていれば全て大丈夫、で問題無いですか。

●事務局

はい、「汚れた紙以外は」を付け足していただければ大丈夫です。

●委員

量に関わらず、例えばバインダーに紙が一枚しか挟まっていない場合ですと、プラスチックの方が量が多いですね。その場合でも紙が入っていれば、大丈夫という伝え方ではまずいでしょうか。広く生徒に伝える場合には、なかなか伝わりにくいところがありますので。

●事務局

取り外しが可能なものについては分別してもらった方がいいと思います。紙と金属を分けるのは大変面倒だ、くっついていて取れない、といった場合は仕方なく雑紙としてください。

本来廃プラに分別されるものは廃プラに入れてもらっても再生利用できますが、可燃ごみを減らす取組ですので、分別できるものは分別して欲しいというのは今までどおりの気持ちです。

●委員

従来通り分別できるもの、すべきものは分別をして出すということは変わりはないけれども、紙がたくさん付いてるようなもの、あるいは金属が一部しか付いていないようなものは雑がみとして出せるようになりましたよ、というようなことですね、ありがとうございます。

それから多くの小中学校が各自で資源回収をしております、この資料の注意書きに「新たに雑がみとなった雑がみは出せませんのでご注意ください」とあります。これは今後の資源回収において留意すべき点ですね。雑がみを回収していますが、回収業者はそれぞれの処理先へ運ぶため、各学校に注意をしていきたいと思います。

●事務局

全ての収集業者が対応できるわけではないため、PTA や子ども会で行う際は相手先に確認して

ください。

●委員

取引業者によっては金属等の付いた雑紙は対応していない場合もある、ということですね。そういうものが混入してから処理するというのはとても大変なことが想像できるので、その点は確認していきたいと思います。それから、そういった金属等の付いたものを雑がみとして扱えるのは、この近隣では江南市だけですか。

●事務局

近隣では小牧市が江南市よりも早くに行っており、可燃ごみが減っていると聞いています。他に瀬戸市もやっております。

●委員

ありがとうございます。瀬戸市、小牧市、江南市ということですね。

●委員

これを機会にお聞きしたいと思ひまして、江南市は一日1人当たりのごみ量は非常に少ないですが、昨年少し増えたんです。雑がみの取組を行うと大幅に減ると想定されるのでしょうか。また市民としてはどういう点を気を付けたらいいか、市はどう思ってみえるか教えていただけたらと思います。

●事務局

年に何回か可燃ごみの組成分析調査をしてるんですが、35%から40%くらいが可燃ごみの中に紙が入っています。ただそれには紙おむつなども含まれているためおおよそ半分の20%くらい資源化できる紙が入っているんです。

一人一日当たりのごみ量は可燃ごみの量を人口と日数で割り込んで計算しています。それを減らすためには、可燃ごみとして排出される量を減らすことが重要です。一番効果的と思われるのが紙だと思い、取り組みを開始しました。昨年度末頃から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛期間などが始まったため、家庭から出る可燃ゴミが増えてしまい、平成30年度実績390g/人・日から令和元年度実績393g/人・日と増加しましたが、令和2年度は必ず減ると思っておりますので、繰り返しですけどご協力お願いします。

●会長

その他、ご意見はございませんか、無いようですので、これをもちまして、第2回江南市廃棄物減量等推進協議会を終了させていただきます。

本日は、長時間にわたりご審議を賜り、ありがとうございました。